

基本施策 2 気づきあい支えあいつながる地域づくり

区民一人一人が互いに認めあい、地域の困りごとに気づき、関心を持ち、我が事として捉え、地域の多様な資源を活用し解決に向けて支えあう地域づくりが行われるよう、以下の4つの視点から施策を推進していきます。

(1) 地域コミュニティの活性化

身近な場所で区民の交流やふれあいの場が充実し、自発的な活動が活発に行われ、人と人のつながりが深まり良好なコミュニティが醸成されるよう支援します。

主な取組 さまざまな主体による活動の推進
地域活動拠点の整備

(2) 地域の担い手や活動団体の育成・支援

地域で発見した生活課題の共有、情報・人・場所など地域の社会資源の充実やさまざまな主体のネットワーク化を進めます。

主な取組 地域の担い手の養成
さまざまな主体との協働の推進

(3) 重層的見守りネットワークの充実

支援を必要とする人や世帯の抱える問題を早期に発見し、支援につなぐ重層的見守りネットワークの充実を図ります。

主な取組 町会・自治会・マンション管理組合等による見守り体制の推進

(4) 心のバリアフリーの推進

学校、家庭、職場、地域などあらゆる場において、多様な価値観を認めあう社会の実現に向けた「心のバリアフリー」を推進します。

主な取組 福祉教育の推進
障害者等の参加・交流機会の充実

クローズアップ

食べてつながる! 支えあう! ～みんなの食堂～

平成29・30年度に実施した「みんなの食堂づくり支援事業」を契機に、ボランティアの方々によって運営される「みんなの食堂」が広がりを見せています。食事の提供等を通じた多世代交流の場として、勝どきデイルームでは「にこにこ食堂」「ぬくぬく食堂」の2団体が創意工夫に富んだ活動を展開しています。どちらにも共通していえることは、ボランティアで自身が活動を心から楽しめていることです。そのことが柔らかく寛容な雰囲気を生み出し、「みんなの食堂」は子育て世代のみならず、孤立しがちな高齢者や障害者にとっても居心地のいい居場所へと進化を遂げています。



たくさんの地域の人で賑う「にこにこ食堂」



アットホームな雰囲気の「ぬくぬく食堂」

クローズアップ

見守り活動で広がる地域の輪

日本橋地域のある町会では、75歳以上の一人暮らし高齢者などのご自宅を訪問し見守り活動を行っており、困りごとや気づきを、必要に応じておとしより相談センターへつないでいます。区や社会福祉協議会では、町会・自治会、マンション管理組合などを単位とした団体への助成事業を通して、自発的な地域活動による見守りネットワークづくりを支援しています。



今日もお元気そうでよかった!と会話も弾みます

地域における支えあいの推進役

民生・児童委員

～地域住民に最も身近な相談・支援者～

民生・児童委員は、住民の立場に立って、地域の中で生活上のさまざまな問題を抱えている人の相談援助活動を行っており、区、社会福祉協議会、福祉関連機関等と協働して支援しています。



地域福祉コーディネーター (CSW)

地域の中で支援を必要とする人を把握し、その人の直面する課題に対して地域住民や関係機関などの協働により相談援助や専門機関につなぐなど、課題の解決を目指して支援する福祉の専門職です。また、地域住民や関係機関・団体などに働きかけて、地域の中で課題を解決するための体制づくりも行います。

生活支援コーディネーター

高齢者に関わる既存の地域資源のネットワークを強化するとともに、多様なニーズ、地域課題を迅速に把握し、介護予防・生活支援サービスにつなげていく役割を担っています。

～ 地域カルテのご紹介 ～

地域の基礎データを整理し、施設やサロンなどの地域資源を地図に落としたもののほか、地域活動者・団体グループインタビュー調査の結果を踏まえて地域の強みや課題などをまとめたものです。

今後も、地域ごとに支援者・活動団体をはじめとした地域の皆さんの話しあいの場を継続的に設けて、課題やその解決方法などの方向性について検討を進めながら地域での支えあいや福祉のコミュニティづくりを推進していきます。

